

プロフィール

氏名	なかの やすと		
	中野 康人		
所属	社会学部社会学科	職名	准教授
学位	博士（文学），文学修士，文学士	専攻	数理社会学，計量社会学，環境社会学，行動科学
所属学会	日本社会学会，数理社会学会，環境社会学会，International Sociological Association		
学内職歴			
研究分野	調査データの計量分析と数理モデルの分析から、規範および秩序の生成・維持メカニズムの解明を目指す。具体的調査テーマとして、個人のごみ捨て行動に関する意識と行動の関係を取り扱ってきた。社会調査データを分析するためのソフトウェア環境の整備にも力を入れている。		

この研究業績等の一覧は、主要研究業績を除き本年度を含み過去5年度分を表示しています。

主要研究業績

区分	著書名・論文名・論題名等	掲載誌／巻・号／発行所／学会名等	発行／発表年月
<2002年度>			
論文			
共	Properties of Learning Models in Collective Action: Rationality of Backward-looking Players	Journal of Mathematical Sociology, 26, 57-69	2002, 06
<1998年度>			
論文			
単	問題状況における協力行動の可能性－社会的ジレンマとしてのごみ問題－	博士学位請求論文，東北大学大学院文学研究科	1999, 03
<1996年度>			
レフェリー付論文			
共	社会的ジレンマとしてのごみ問題－ごみ減量行動協力意志をめぐる要因の構造－	環境社会学研究, 2, 環境社会学会	1996, 09

## 業績

区分	著書名・論文名・論題名等	掲載誌／巻・号／発行所／学会名等	発行／発表年月
----	--------------	------------------	---------

### <2003年度>

#### 著書

共	『社会を<モデル>でみる：数理社会学への招待』日本数理社会学会監修,土場・小林・佐藤・数土・三隅・渡辺編	勁草書房	2004, 03
---	--	------	----------

#### 論文

単	社会調査データ・アーカイブの利用方法	関西学院大学社会学部紀要』, 95:227-235	2003, 10
共	データの作成・公開と実査時の注意点	『理論と方法』18(2):237-251	2003, 09

### その他の活動

活動内容	発行／活動年月
------	---------